

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2002.7.1~7.31)

人事(7月1日付)

事務嘱託 塚本智子(多摩事務部多摩地域社会研究センターより転入)

刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』525号(2002年8月)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	99	18	117
受 贈	101	2	103
合 計	200	20	220

閲覧サービス

閲覧

開館日数 26日
 閲覧人員 66名
 貸出図書 33冊

コピーサービス

学外 27件 3621枚
 学内 24件 815枚

日 誌

- 2日 鈴木章治氏より電産レッドページ関係資料及び東京電力労働組合資料受贈(段ボール10箱)
- 3日 (財)労働科学研究所創立81周年記念講演会(後援:法政大学大原社会問題研究所,出席:早川征一郎)
日本経済同友会主催シンポジウム「政治への信頼回復を求めて」(出席:五十嵐仁)
- 4日 国民文化会議資料整理開始(山部芳秀氏)
- 5日 ウェブでの資料公開打ち合わせ
- 9日 『赤旗』復刻打ち合わせ(出席:犬丸義一,梅田欽治,早川征一郎,五十嵐仁)
- 13日 現代労使関係・労働組合研究会(出席:早川征一郎,鈴木玲)

社会政策学会幹事会(出席:五十嵐仁)

加齢過程における福祉研究会

報告者 塚本直克氏(八王子市健康福祉部高齢者相談課長)

テーマ 「八王子市における介護保険-経過,現状,課題-」

- 17日 運営委員会
- 18日 大学図書館職員研修会(文部科学省・図書館情報大学主催,於:市ヶ谷キャンパス),「Webサイトをつづじた大原社研」(講師:鈴木玲,出席:若杉隆志,神屋敷昭人)
- 19日 労働関係シンクタンク懇談会主催第3回労働関係シンクタンク交流フォーラム(出席:五十嵐仁,鈴木玲)
- 23日 事務会議
見学来所:法政大学大学院人文科学研究科生10名(引率:永井純市文学部助教授)
重複図書を労働資料協議会加盟各機関に寄贈
- 24日 研究員会議
月例研究会
テーマ 「『日本労働年鑑』第72集(2002年版)-その内容を検討する」
宇都宮市立図書館より社会科学関係図書を受贈(段ボール3箱)
鈴木章治氏より東電争議関係資料受贈(段ボール6箱)
前期打ち上げ及び山辺さん塚本さん歓迎会
- 25日 全労連大会(傍聴:鈴木玲)
- 27日 加齢過程における福祉研究会
報告者 山崎有正氏(相模原市保健福祉部介護保険課保健班担当課長)
テーマ 「相模原市の介護保険施行状況について」
- 30日 JILシンポジウム「労働組合は今後とも労働者の代表たりうるか?」(出席:五十嵐仁,鈴木玲)

大原社会問題研究所雑誌 No.528(2002年11月号)

2002年11月25日発行

定価 1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 早川征一郎

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307

投 稿 募 集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投 稿 規 定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論 文 執 筆 要 領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
横書きとする。
タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
日本語の図書・論文の場合
A. 日本語で書かれた図書については、著者名、書名（書名は『 』で囲む）、出版社名、発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「 他 」の方式も可とする。
C. 論文については、執筆者名、論文名（「 」で囲む）、掲載雑誌名（『 』で囲む）、巻号、発行年月日の順に書く。
D. 注の最後は、かならず「。」で止める。
欧文の図書・論文の場合
A. 欧文の図書については、著者名、書名、発行地（あるいは出版社名）、出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上